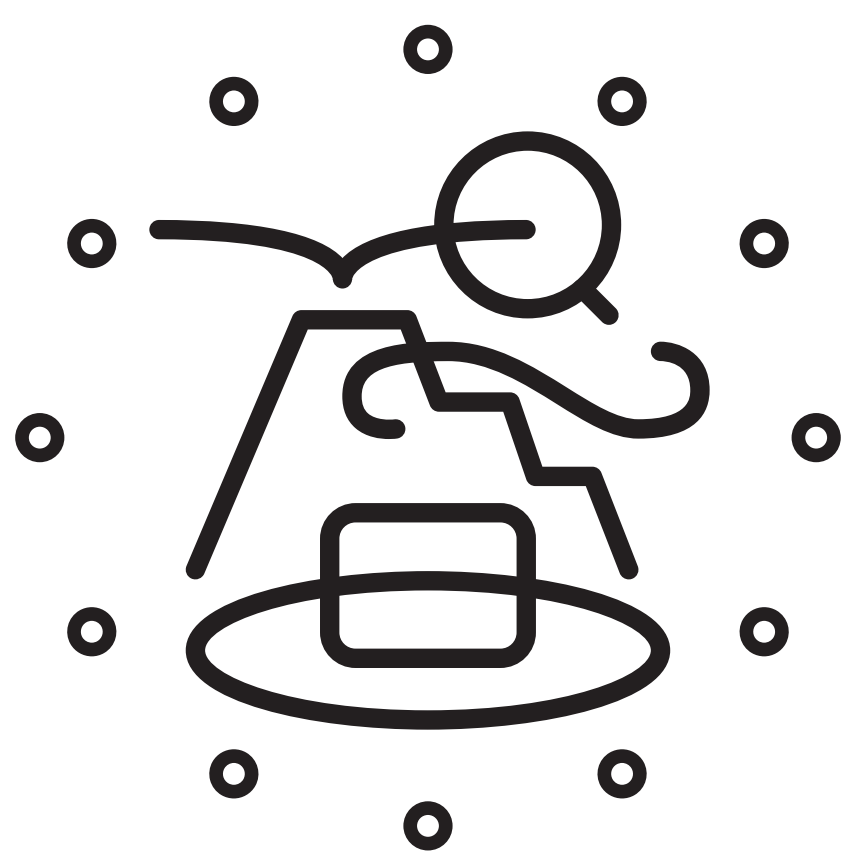


インタープリター トレーニング セミナー

テキストブック **version 3**

2024



日本インタープリテーション協会
Association for Interpretation Japan

資料一覧 (資料コード/資料タイトル/ページ)

100 インタープリテーションの理解

101	インタープリテーションとは？(やさしい説明)-----	3
102	保全地域とインタープリテーション -----	5
103	インタープリテーションの場 -----	7
104	エコツーリズムとは -----	9
105	インタープリテーションの歴史 -----	12
106	インタープリテーションの定義 -----	16
107	インタープリテーションの特徴 -----	18
108	インタープリテーションの原則 -----	20
109	インタープリテーションの要素「TORE」-----	22
110	インタープリテーションに関わる分野・領域 -----	29
111	インクルーシブ・インタープリテーション -----	32
112	インバウンド、外国人客への対応 -----	35
113	体験学習 Experiential learning -----	39
114	インタープリテーションの 様々なメディア -----	41
115	インタープリテーションと展示 -----	46
116	インタープリテーションとガイド -----	48
117	歴史のインタープリテーション -----	49
118	子どもを対象にしたインタープリテーション-----	53

200 インタープリテーションの技術

201	テーマに基づいたインタープリテーション -----	58
202	プログラムの構成要素 -----	60
203	ねらいを明確にする -----	61
204	素材から発想する -----	64
205	プログラムの「ながれ」-----	67
206	トーク・プログラムを計画する -----	69
207	ガイド・プログラムの計画 -----	71
208	参加体験型プログラムの計画 -----	75
209	自然体験プログラムの考案のヒント -----	78
210	自然観察とインタープリテーション -----	80
211	「さわれるもの」と「さわれないもの」-----	84
212	ガイドプログラムにおける参加者とのコミュニケーション -----	86
213	アイスブレイキング -----	88
214	意図された「問い」をつくろう -----	90
215	インタープリテーションのための調査 ビジタースタディ -----	94
216	情報の流れからみたビジターセンターの活動-----	96
217	ビジターセンターにおける情報収集 自然情報・地域情報の収集 -----	99
218	展示が持つべき4つの機能 -----	102
219	テーマに基づいたパネル展示の計画 -----	107
220	学習の入り口「エントリー・ポイント」-----	112
221	ハンズオン展示 Hands-on Exhibition / Exhibits -----	113

222	インタープリテーションとファシリテーション-----	115
223	マーケティングの考え方 Marketing -----	117
224	インタープリテーション全体計画 Interpretive Planning -----	119
225	資料：インタープリテーション全体計画の構成-----	122
226	インタープリテーションの人材育成計画 -----	124
227	評価の設計と実施 Evaluation -----	127
228	その場所らしさ 観光とインタープリテーション全体計画-----	129
229	団体等から依頼されたプログラムの計画 -----	132
230	パブリック・リレーションズと広報-----	137
231	インタープリテーションの組織運営と品質管理-----	141

300 インタープリターとしてのあり方・働く姿勢

301	インタープリターの役割-----	147
302	フィードバックとは？-----	149
303	「21 世紀のインタープリテーション」と ACE -----	152
304	インタープリテーションに係る 人材のコンピテンシー -----	154
305	「インタープリテーションに携わる人材の育成指標」の活用 -----	158
306	インタープリテーションにおける人権の問題-----	159
307	現代社会におけるインタープリテーションの役割 -----	161
308	インタープリテーションはブリコラージュである -----	165
	インタープリテーション関連用語集 Interpretation Glossary-----	169

※各資料のタイトルの右下に、青い文字で「[コンピテンシー表対応 K1-1](#)」などの記述があります。
この記号は、当協会が作成している「インタープリテーションに関わる人材の育成指標（略称：コンピテンシー表）」との対応を示しています。本テキストブックの、資料コード [304](#) 「インタープリテーションに係る人材のコンピテンシー」にも説明があります。

執筆者一覧 ※五十音順。所属・役職は発行時点。

川嶋 直	(公益社団法人日本環境教育フォーラム主席研究員)
高田 研	(みのむし環境文化研究所 代表／元都留文科大学教授)
西村 仁志	(広島修道大学人間環境学部 教授)
林 浩二	(千葉県立中央博物館 共同研究員)
古瀬 浩史	(帝京科学大学アニマルサイエンス学科 教授)
古屋 絢子	(観光ラボ代表／英語通訳ガイド／文教大学講師)
増田 直広	(鶴見大学短期大学部保育科 講師)
村上 友和	(株式会社 自然教育研究センター)
山田 菜緒子	(金沢大学融合研究域融合科学系 准教授)

インタープリテーションとは？

(やさしい説明)

コンピテンシー表対応

K1-1/K1-2

インタープリテーションは自然地域や歴史地域、ミュージアム等における教育的なサービス

「インタープリテーション」は、かつて「自然解説」と訳されることがありましたが、歴史や文化など様々な分野が対象になることや、本来の意味やニュアンスをうまく表していないことから、片仮名のまま広く使われるようになっていきます。インタープリテーションは、自然公園や遺産地域、観光地、ミュージアムのような場所で行われる、資源（保全の対象である自然や文化財、歴史的景観など）についての理解の促進や来訪者の体験の質の向上などを扱った教育的なサービスのことを指します。

インタープリテーションはレクリエーションでもある

インタープリテーションは「教育的なサービス」と書きましたが、インタープリテーションが行われる場所、例えば、国立公園、歴史的地域、動物園や水族館などは、基本的に人々が遊びに行く場所です。ですので、インタープリテーションはレクリエーションの側面も持っています。来訪者が充実した体験を通して「楽しく学べる」機会を提供することが大切にされています。

インタープリテーションは来訪者に、地域の大切なストーリーに触れる機会を提供する

例として、自然や文化的資源を持った観光地を考えてみましょう。誰が見ても、何の説明がなくても「素晴らしい」と思えるような傑出した景観を持った場所もありますが、一見ありふれた風景の中に、古来から人と自然の関わりの中で守られてきた大切なものが含まれていたり、歴史的なストーリーが内在していたりするかもしれません。インタープリテーションは、そのような地域が守り伝えている、その地域ならではのモノやコトの価値や意味を、観光客（来訪者）や、地域に暮らす人達と共有するためのコミュニケーションです。もしインタープリテーションがなければ、来訪者は、その地域の貴重な事物に出会わず、大切なストーリーにも触れず、関心を持てないまま、楽しむこともなく通り過ぎてしまうかもしれません。来訪者が地域に残されている大切なモノやコトに気づき、その地域が好きになって、「大切にしたい」「もっと知りたい」「また来たい！」と思って帰ってもらうためには、地域での素敵な体験や、その地域ならではのストーリーに触れる機会を提供する必要があります。

インタープリテーションには多様な方法、多様な人の関わりが必要

インタープリテーションの典型的で、もっとも重要な方法（媒体）の

※「Interpretation」は、第一義的には言語の翻訳・通訳をさす。また、演劇や音楽、宗教などにおける「解釈」の意味でも使われている。本項で扱っているインタープリテーションの分野は、Heritage（遺産）Interpretation、あるいはEnvironmental Interpretationのように使われる場合もあるが、国立公園等の文脈では、単体の単語「インタープリテーション」と使われるのも普通である。インタープリテーションを行う人をインタープリターと呼ぶ。

一つに、ガイドプログラムがあります。ガイド・ハイキングや、歴史的な町並みを案内する街歩きガイドツアー、自然観察会など、様々なガイドプログラムが行われています。ガイドプログラムでは、ガイド担当者（インタープリター）が、その日の参加者層や天気の状態等に合わせてコースや内容を臨機応変に修正したり、双方向のコミュニケーションができるため、とても重要な方法です。ガイドを楽しく意義あるものにするためには、担当者の知識や技術が必要であり、その技術をインタープリテーションと呼ぶ場合があります。

一方、観光地を訪れる人は、必ずしもガイドプログラムに参加するとは限らないため、それだけでは十分とは言えません。家族だけで気楽にドライブやハイキングを楽しみたい方もたくさんいます。よりたくさんの人に、その地域ならではのモノやコトに触れる体験をしていただくためには、ガイドプログラムだけでなく、案内施設の窓口での情報提供や、施設内外での展示、印刷物、自然探勝路の設定、ホームページなど、様々な方法を通じてコミュニケーションを行うことが必要になります。それら、来訪者と地域資源が持っている意味や価値とを結びつける、一つひとつの媒体や、全体としての機能をインタープリテーションであると捉えることができます。

言い換えれば、自然や歴史的資源を持つ観光地、ミュージアム等においてインタープリテーションの機能を充実させるためには、ガイド担当者のような専門家だけでなく、案内施設の職員、印刷物のデザイナー、ホテルや交通関係などの観光事業者、観光ボランティアなど、様々な人の関わりが必要であり、さらにそれらの関係者が、ある程度の共通理解を持って、コミュニケーションに参加することが必要です。

インタープリテーションは社会の持続可能性につながっている

その地域ならではの大切なモノやコトをより理解し、そのストーリーを多くの人と共有しようとする活動は、観光振興やレクリエーションのためだけでなく、それまで地域に大切に受け継がれてきた自然や文化的資源を保全し、後世に継承していくことに繋がっています。ここにもインタープリテーションの目的があります。かつて観光開発は自然保護と対立していた時代がありますが、エコツーリズムやエコミュージアム、国立公園や世界遺産等の考え方の普及によって、観光による地域振興と資源の保全は両立できるものであると考えられるようになってきました。インタープリテーションはその両立において大きな役割を果たし、地域社会を持続可能にするための手段の一つに位置づけることができます。

さらに、地域の特有な自然や文化的資源とその背景に学ぶことは、地域にとどまらず世界の持続可能性にも繋がっています。例えば里地里山のように人が利用しながら生物の多様性が維持されていた場所についての理解から、これからの時代の自然共生型の社会について考える機会を持つことや、戦跡のような悲しい歴史を持った場所のストーリーから、平和の尊さや国際理解の重要性を考えるなどのアプローチが例としてあげられます。それらの意味で、インタープリテーションは持続可能な社会作りに向かっていくための重要なコミュニケーションの機会であると位置づけられています。

（古瀬浩史）

インタープリテーションの場

コンピテンシー表対応

K1-2

自然公園・環境保全地域

日本では、自然公園がおおよそ国土の14%を占めています。自然公園はインタープリテーションが生まれ、発展した場所です。インタープリテーションを担当する「インタープリター」の姿がもっともイメージしやすいのは自然公園かもしれません。国内外の様々な自然公園やその関連施設で活発な活動が行われています。自然公園に近い場としては野鳥保護区や保全緑地などがあり、インタープリテーションの拠点施設が作られるケースも多くあります。日本の自然公園行政を統括する環境省では、インタープリテーションにあたる活動は「自然ふれあい活動」とされてきました。インタープリテーションの拠点となる施設は、ビジターセンターの名称が一般的ですが、それ以外に、ネイチャーセンター、フィールドセンター、ウォッチングセンター、ウェルカムセンターなどの名称が使われます。これらの施設は国立や都道府県立、また民間の財団等が設立・運営している場合もあります。日本の自然公園拠点施設は、それぞれが独自に運営しており、制度やサービスの統一性や連携はあまり強くない状況があります。

※自然公園法は、国立公園、国定公園、都道府県立公園を自然公園として定めている。

※アメリカでは国指定の自然遺産や歴史遺産が「国立公園局」によって管理されており、インタープリテーションは自然、歴史等の区別なく行われている。

エコツアー、自然学校

現在、インタープリテーションのとても重要な場となっている分野に、民間の団体や事業者等によるエコツアープログラムや、自然学校の活動があります。エコツーリズム（資料コード 104 も参照）は日本国内でも1990年代から急速に普及し、全国的な広がりを見せています。地域の自然や文化的な資源を学ぶ、環境学習の要素を持った観光である「エコツーリズム」において、インタープリターの存在は不可欠です。また、エコツーリズムの普及とほぼ時を同じくして地域資源を活用して教育的なプログラムを実践する種々の「自然学校」が創られてきました。自然学校においても、インタープリテーションが取り組まれています。

エコツーリズムでは、教育、環境保全に加え、観光を通じた地域振興の側面でインタープリテーションが大きな役割を果たしています。

都市型環境学習施設

1992年の地球サミットで採択されたアジェンダ21をきっかけの一つにして、地球環境問題やリサイクル、エネルギー、水などの生活に密着した環境問題や持続可能な社会をつくるためのライフスタイル変革をテーマとした環境学習施設が都市部に作られるようになりました。このような施設を都市型環境学習施設と呼んでいます。これらの施設においても、教育普及を担当する職員の配置は重要であり、インタープリターの活動の場となっています。

動物園、水族館

今日の動物園や水族館はレクリエーションの場としてだけでなく、教育的な役割が重視されており、様々な教育普及の活動、すなわちインタープリテーションが活発に行われています。飼育担当の職員が普及プログラムを兼務して実施する場合や、大きな施設では教育普及専門の職員が配置されている場合もあります。通常は立ち入ることができない飼育施設の裏側をガイドするバックヤードツアー など、様々な工夫されたプログラムがあります。ボランティアによるインタープリテーション活動も活発です。

歴史地域・景観保全地域・文化財

自然だけでなく歴史や文化財などもインタープリテーションの対象です。史跡や名勝、歴史的な町並みや景観の保全地区、建築物などにおいてもガイドプログラムや展示、印刷物を用いたインタープリテーションが行われています。

科学館、各種博物館

体験型の展示が主流になる中で、科学館や博物館等の展示施設ではフロアで教育普及を担当する職員を配置するケースが増えています。インタープリターの名称のほか、科学コミュニケーター、解説員などの名称が使われる場合もあります。

さらなる広がり

インタープリターの活躍する場は、さらに広がりを見せています。都市公園：都市生活者にとって身近な緑地である都市公園においても、自然体験や教育的なプログラムが導入されるケースが増えており、インタープリターが常駐するケースも少なくありません。

「環境フェア」などのイベントや「野外音楽フェスティバル」のような場においてもインタープリテーションが取り組まれています。

学校教育では「総合的な学習の時間」や「学校長期自然体験活動」の施策などに関連して、社会教育の分野で活動するインタープリターが関わるケースがあります。

(古瀬浩史)



モンレーベイ水族館（アメリカ）でのボランティアガイド（撮影：西村仁志 2018 年）



法隆寺でのガイドツアー。（奈良県法隆寺 撮影：山田菜緒子 2020 年）

インタープリテーションの定義

コンピテンシー表対応
K2-1

インタープリテーションは、様々な定義がされてきました。時代とともに変遷もしています。ここでは主だったものを紹介します。

インタープリテーション

- （公園やミュージアム等において、）単なる情報の提供でなく、実物や直接体験、視覚的な教材等を通して事物や事象の背後にある意味や関係性を明らかにすることを目的とした教育活動（フリーマン・チルデン／Interpreting Our Heritage）
- インタープリテーションは、参加者が個人的な意味を見つけて、もの、場所、人々、概念と個人的なつながりを作り出すように刺激することを目的とした、ミッションに基づいたコミュニケーション手法である。（Ham, 2013）
- 参加者それぞれが、資源に内在する意味や重要性との間に、知的、感情的なつながりをつくる機会を創出するための触媒。（アメリカ国立公園局）
- インタープリテーションは、意味深く、関連性を持った、包括的な体験を促し、人々がより深く理解し、視野を広げ、私達をとりまく世界に積極的に関わることをインスパイアする、目的を持ったコミュニケーション手法です。（NAI, 2021に改定された定義）
- 環境保全地域、公園、博物館などが持つ「資源」を扱った、持続可能な社会づくりのための教育的なコミュニケーション。参加者の興味や関心を引き出しながら、ものごとの背後にある本質に迫ろうとする、体験を重視した教育活動。（古瀬, 2014）
- インタープリテーションの主な目的は、有意義な学習体験と楽しいレクリエーションを通じて人々の生活を豊かにすることです。幅広いコラボレーションとスチュワードシップを通じて、自然および文化的資源を保護します。コミュニティを構築し、地球の健康を維持するために、社会および環境的意識を刺激します。（アメリカ国立公園局／21世紀のインタープリテーション）

インタープリター

- ネイチャーガイドは、世間で言うところの「ガイド」ではなく、教師でもありません。いつの時代も、情報や何らかの教育と結び付けられるが、私たちが考えるネイチャーガイドは、情報を提供するというよりも、インスピレーションを与えるものです。（イーノス・ミルズ）

インタープリテーション全体計画

Interpretive Planning

コンピテンシー表対応
S4-2

インタープリテーション全体計画とは

インタープリテーションという言葉は、ガイドプログラムや展示など、個別のメディア（媒体）を指す場合もありますが、公園や地域、あるいは施設やイベントで行われるインタープリテーションの全体を指す場合もあります。たいていの場合、公園、施設、イベント等においてインタープリテーションのメディアは一つではなく、それらは関連性があり、相互補完的であることが求められます。そのため、地域や施設等の単位で、インタープリテーションの様々なメディアを包括した、インタープリテーション全体計画がつくられるようになっていきます。

インタープリテーション全体計画の普及

インタープリテーション全体計画は 1990 年代後半頃から、必要性や方法に関する文書がみられるようになり、アメリカの国立公園局では 2000 年に発行された指針「包括的なインタープリテーション計画 *1」によって、すべての国立公園において共有のフォーマットでつくられるようになりました。州立公園や観光エリア、世界遺産地域などにおいてもつくられています。

世界遺産分野では、世界遺産のマネジメントについて書かれた文書 *2 の中で、インタープリテーション計画を立案することが推奨されています。

インタープリテーション全体計画の特徴

- ・一般的なプロジェクトのプランニング（企画）、例えば商品企画、教育計画と本質的には変わらない。
- ・インタープリテーションの目的やテーマ（メッセージ）、来訪者層の分析、インタープリテーションのメディア、評価などの要素を包括的に検討する。
- ・通常は 5 年程度の期間の計画。
- ・インタープリテーションの基本的考え方の一つである、「テーマ」を基盤としたインタープリテーション（thematic interpretation）の考え方に基づいている。
- ・公園に関わるいろいろな関係者、例えば、地域住民、資源の専門家、インタープリテーション計画の専門家、インタープリター、教員、展示の専門家などが参加して計画を検討することが推奨される。

***1参考：米国国立公園局におけるインタープリテーション全体計画の定義：**

インタープリテーション全体計画は、来訪者に体験や学習の機会を提供する方法、それらをより促進する方法を明らかにし、共有するプロセスである。

***2 参考：世界遺産とインタープリテーション計画：**

世界遺産登録のプロセスでつくられる「推薦書」の書式の「セクション 5.i」に「資源についてのプレゼンテーションとプロモーションに関連するポリシーとプログラム」という項目があり、ここにインタープリテーション計画が記述される場合がある。日本の世界遺産登録の過程で、世界遺産委員会が、インタープリテーション計画の策定を勧告したケースがある。世界遺産におけるインタープリテーション計画は、「国境を越え、すべての人類の現在および将来の世代にとって共通の重要性を持つ非常に例外的な文化的および / または自然的意義」に基づいてつくられることが求められている。

インタープリテーション全体計画の基本要素

1. Why：使命、目的

何のために、何を目指してインタープリテーションするのかを記述する。通常は新たに設定するというよりは、施設の基本計画や、業務仕様書などの中に見つけることができる。明確でない場合は、関係資料を解釈したり、より上位の計画や国際的なアジェンダなどをもとに文章化したりする。

2. Who：来訪者の分析

どのような人が訪れているのか、あるいは訪れていないのか、地域住民なども含めて、インタープリテーションの対象者を類型化して整理し、ターゲットを想定する。

年齢による類型や、目的、グループの性格など、様々な類型ができる。

3. What：資源、テーマ、来訪者の経験、あつかうべきモノやコト

「何」をインタープリテーションするのかを明らかにする。

この項目の中には次の内容が含まれる。

3-1. 重要な資源：地域にある資源、施設が持っている資源、例えば、固有の生物や景観、史実、文化財など、解説すべき重要な資源のリストが含まれる。

3-2. テーマ：インタープリテーションで扱うメッセージを短く記述する。通常数個の文章にまとめられる。

3-3. 来訪者の経験：来訪者に、どのような経験や体験をしてほしいかを記述する。

4. How、When、Where：メディアの計画

ガイドツアーや展示、印刷物、ネイチャートレイル、野外解説板など、具体的なインタープリテーションの媒体（メディア）を検討する。

参考；インタープリテーション計画におけるテーマ

US National Park Service (2002) Comprehensive Interpretive Planning」より抜粋。

テーマは、一般の人々に伝えられるべき、公園のもっとも重要な知識や概念を定義します。公園資源に備わった有形、無形の意義や普遍的な概念を伝えるものです。明快な言葉で表され（通常一、二文で表現されます）、主旨と副題に分けられることもあります。（中略）これらの定義によって、公園の持つ資源はより大きな過程やシステム、考え、価値観などにつながりを持つようになります。テーマはまた、公園が示す教育的なメッセージの核となるものを定義するのに使われるべきです。

テーマはインタープリテーション活動や教育プログラムの基盤となります。

（古瀬浩史）



図．インタープリテーション全体計画のモデル
Michael P. Gross and Ron P. Zimmerman (2002)
Interpretive Centers を参考に作図

インタープリテーションは基本的に一般的な事業等のプランニングと変わらない。5W1H（あるいは6W2H）と称される企画の要素を関連付けながら整理していく。

資料：インタープリテーション 全体計画の構成

海外資料からの抜粋

コンピテンシー表対応

S4-2

国立公園をはじめとして、世界遺産、歴史的観光地、植物園など、様々な分野の資料で、インタープリテーション全体計画に含めるべき要素や、計画の構成などが検討されています。それらの考え方には大きな違いはなく、アメリカ国立公園局の取り組みからいろいろな領域に普及していたものと推察されます。

その中から、インタープリテーション全体計画の構成について書かれた部分をいくつか紹介します。

「包括的なインタープリテーション計画」： Comprehensive Interpretive Planning

米国国立公園局資料。2000年に出された米国国立公園におけるインタープリテーション計画作成のための指針。その中で、インタープリテーション計画の構成は、以下のような整理がされています。

パート1. 基本的な項目

- 公園の設置意図（Purpose）と重要性（Significance）
- テーマ（Themes）
- 目的（Management Goals）
- 望まれる参加者の体験（Desired Visitor Experience）
- インタープリテーションを左右する課題や影響（Issues and Influences Affecting Interpretation）
- 来訪者分析（Visitor Profiles）
- 既存のインタープリテーションの状況（Existing Interpretive Conditions）

パート2. 将来のインタープリテーション計画

- パーソナル・サービス
- ノン・パーソナル・サービス
- パートナーシップ
- 必要な蔵書や収蔵品
- 必要な調査
- 必要なスタッフ
- インタープリテーション・プログラムの費用
- 実施計画

「インタープリテーションと来訪者体験の計画」

Planning for Interpretation and Visitor Experience

米国国立公園局資料。1998年に米国国立公園局のインタープリテーション研究施設であるハーパーズフェリーセンターが発行した資料。

設置意図 (Purpose)

重要性 (Significance)

テーマ (Themes)

来訪者の経験 (Visitor Experience)

目的 (Goals) と目標 (Objectives)

来訪者 (Visitors)

資源 (Resources)

主題に関する知識 (Subject Matter Knowledge)

提案：インタープリテーションの媒体 (Media)、施設 (Facilities)、景観 (Landscapes)

評価 (Evaluation)

インタープリテーション計画のキーとなる論点

Scottish National Heritage 資料

1. なぜインタープリテーションが必要なのか
2. インタープリテーション計画の過程で巻き込むべき人はだれか
3. 何をインタープリテーションするのか
4. だれにインタープリテーションするのか
5. 語りたいストーリーは何か
6. インタープリテーションの目標 (Objectives) は何か
7. どのような媒体 (Media) を使うのか
8. どのように実行するのか (タイムテーブルや担当者)
9. どのようにモニタリングし評価するのか
10. どのように持続するのか